

エボラブルアジアとジェットスター

航空券予約システムで連携

東証マザーズ上場でオンライン旅行事業、訪日旅行事業などを展開するエボラブルアジアは、格安航空会社（LCC）ジェットスター・ジャパン（千葉県成田市）と航空券の予約システムなどを連携した。連携により、航空券予約・手配が自動でできるようになり、利用者の利便性向上につながるを期待して

いる。連携は国内線のみだが、「今後はジェットスターとの連携を一段と深め、国際線などのシステムにも広げる」（エボラブルアジア）という。

従来からエボラブルアジアとジェットスター・ジャパンの両社は、認可代理店契約を結び、エボラブルアジアの国内航空券予約サイトでジェットスターの



国内航空券を販売していた。今回の連携で航空券の空席状況や

運賃の表示がリアルタイムで提供できるという。

成田国際空港のジェットスター・ジャパンのカウンターで搭乗手続きする乗客ら（千葉県成田市（ラームパーク）

今回、システム連携するのは、ジェットスターが国内線で提供する運賃タイプのうちスタンダード「Starter」のみとなる。

しかし、今後は「Starter Plus（ちゃっかりPlus）」「Starter Max（しっかりMax）」といった運賃タイプや国際線にも広げる計画だ。「訪日旅行事業で国際線からの乗り継ぎ需要を取り込み、民泊利用者への交通手段として展開したい」（同社）と意欲を燃やしている。